

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 廿日市市立宮島小・宮島中学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☒ 小中一貫教育
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育
☐ 特別支援学校 ☐ その他 ()

所在地 〒739-0588
広島県廿日市市宮島町779-2

E-mail miyajima-e-soshiki@hatsukaichi-edu.jp
miyajima-j-soshiki@hatsukaichi-edu.jp

Website _____

児童生徒数 男子 53名 女子 56名 合計 109名
 児童・生徒の年齢 5歳～15歳

2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☒ 国際理解
- ☒ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☒ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☒ 防災
- ☒ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか ()

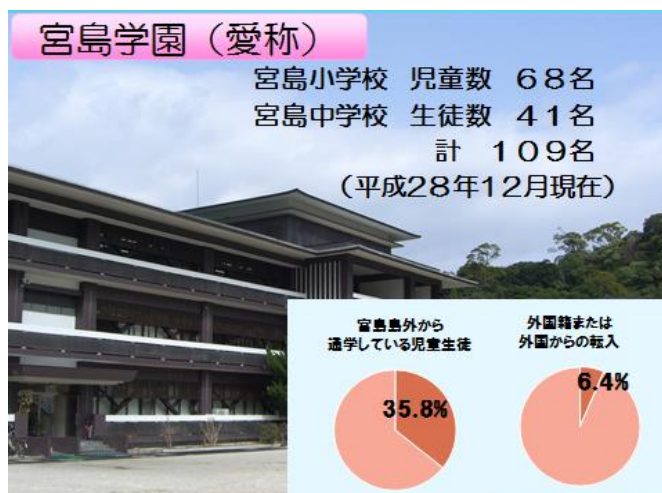
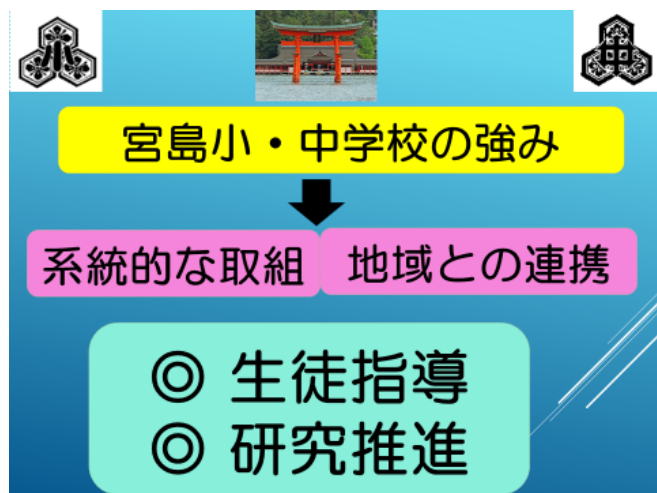
「平成28年度ユネスコスクール年次報告書」



今年度は、昨年度の成果と課題をもとに、E S Dの視点を生かした学びを通して、宮島を誇りに思い、宮島の未来を創る児童生徒を育成したいと考えた。その際、『学びの変革』アクション・プラン」の実践も取り入れながら、児童生徒が主体的に学ぶ授業を構築していった。

研究主題に迫るため、次の3点に研究視点を置き、取り組んだ。

- (1) ユネスコスクール実践の場としてのE S Dの充実
 - ・E S Dカレンダー作成による、本校での学びを整理し、企画・実践・見直しを通して、次年度へつなげるP D C Aサイクル
 - ・E S Dカレンダーにより学校としての取組の見える化を図り、教職員間だけでなく、生徒・保護者・地域と取組を共有
 - ・豊富な地域の資源や人材の活用（たのもさん、宮島踊り・杓子踊り、松明づくりなど）
 - ・地域の実地調査や世界遺産やラムサール条約登録の地ならではの活動
- (2) 自己有用感の育成による、自分・仲間・学校・地域・世界への愛着の育成
 - ・互いの良さを認め合う活動（日々の活動で、行事で、ボランティア活動で、地域行事で）
 - ・学びを通して、宮島再認識（地域愛の深まり）
 - ・授業や行事での関わり合い、学び合い、高め合いの場の設定（学年内で、異学年で、地域のひと）
- (3) 生活科・総合的な学習の時間や各教科等での思考力・判断力・表現力等の育成
 - ・各教科授業だけでなく、生活科や総合的な学習の時間においても、授業の終末に児童生徒に「めあて」と「振り返り」の記述または発言を行わせ、主体的に授業に取り組む態度を育成
 - ・ディベート・I C T等の活用・体験的活動



生徒指導より

平成28年度 生徒指導基本計画

学校教育
目標

自己の未来を切り拓いていく
児童・生徒の育成

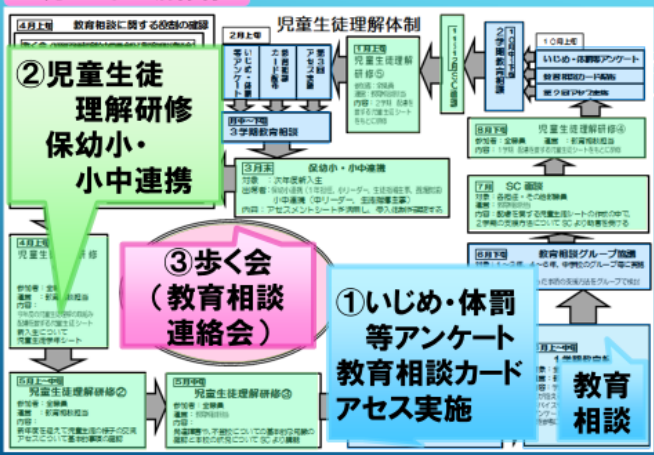
生徒指導目標

自ら考え、正しく判断し、行動できる
児童・生徒の育成

めざす児童・生徒像

- (1) 自己や地域を知り、自らの夢や希望を持ち、未来を切り拓く児童・生徒
- (2) 仲間のよさに学び、関わり・つながりを大切にできる思いやりのある児童・生徒
- (3) 自ら学び、考え、粘り強く責任を持って物事に取り組む児童・生徒
- (4) 地域の自然や歴史・文化に学び、郷土を大切にする児童・生徒

1 児童生徒理解体制



小・中9年間を見通し、発達段階に応じた児童生徒理解と生徒指導の3機能を踏まえた実践を行っています。

1 児童生徒理解体制

① いじめ・体罰等アンケート 教育相談カード アセス実施



小・中 全員で
共通理解を図る

個に対する
支援

集団に対する
支援

1 児童生徒理解体制

② 児童生徒理解研修

視覚・聴覚支援の取組

(1) ルールの明確化



(2) 刺激への配慮



(3) 場の設定、整理 整頓しやすい環境



(4) 見通しを持たせる



9年間を通した取組
学校全体での取組
↓
全ての児童生徒に
有効

1 児童生徒理解体制

③ 歩く会(教育相談連絡会)



歩く会
(教育相談連絡会)

2 9年間の系統的な生徒指導の取組

発達段階に応じた目標設定

	あいさつ	時間	掃除	整理・整頓
9 8 7 年	相手の方を向いて、自ら、笑顔で元気よくあいさつしよう(来訪者には立ち止まって挨拶をする)	授業開始2分前には席につき、静かに予習をしよう	自分で気づいて動き、無言で協力して掃除をしよう(時間が余ったら、気付き掃除をしよう)	決まった場所に決まったものを片付け、きれいに整えよう
6 5 4 年	自ら、笑顔で元気よくあいさつしよう	授業開始までに席につき、教科書等を静かに読もう	静かに、協力して掃除をしよう	
3 2 1 年	笑顔で元気よくあいさつしよう	授業開始までに学習準備を整えて席につこう	正しい掃除の仕方を身につけ、静かに掃除をしよう	決まった場所に決まったものを片付けよう

2 9年間の系統的な生徒指導の取組

生徒会執行部 朝の挨拶運動



来訪者には
立ち止ま。て
あいさつを
しますか？

学級・生活委員会
挨拶・時間
のポスター

2 9年間の系統的な生徒指導の取組

保健・環境委員会 クリーニングデー (整理整頓)

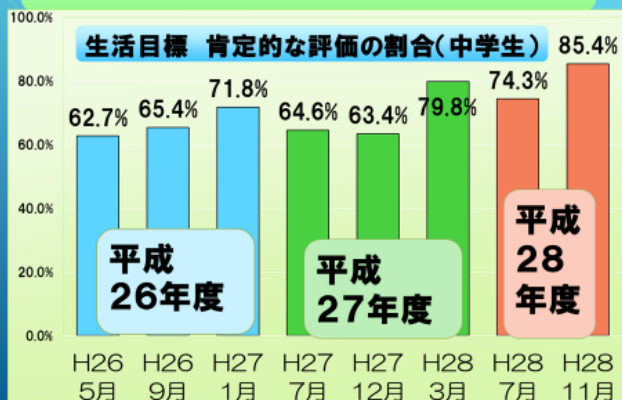


1～9年の縦割り班
縦割り掃除



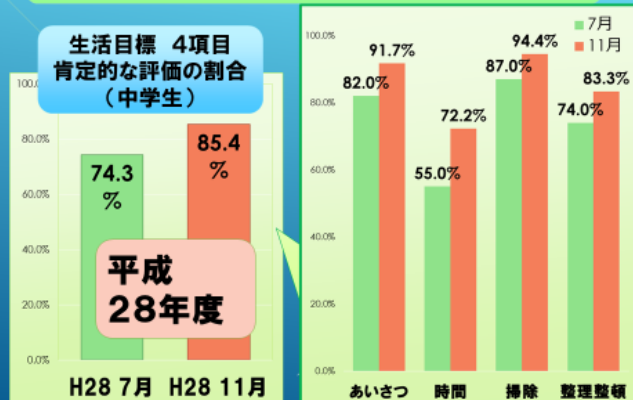
2 9年間の系統的な生徒指導の取組

生活目標 肯定的な評価の割合(中学生)



2 9年間の系統的な生徒指導の取組

生活目標 4項目 肯定的な評価の割合 (中学生)



アンケートでは、各年度の学期ごとに肯定評価の割合の上昇が見られました。

3 自己有用感を高める取組

取組の経緯

以前の児童生徒の実態
自己肯定感が低い
(特に中学生)

島外通学生や外国籍児童生徒の
居場所・絆づくり

本校の特徴
小中一貫教育

自己
有用感
を
高める
取組

3 自己有用感を高める取組

自己有用感 UP

ねらいの
明確化

活動
異学年
交流

ふりかえり
体験の
共有化

個のふりかえり→小集団のふりかえり→全体共有

ハッピーツリーのメッセージでは、教えてくれた上級生や、支えてくれた下級生、一緒に活動した仲間へ向けて感謝の気持ちが伝えられています。

3 自己有用感を高める取組



夏休み 5・7年生
3泊4日 合同野外活動



5年生と7年生が、
協力し、計5回の食事
作りを行いました。

3 自己有用感を高める取組

8年生→2年生
歯みがき指導



3 自己有用感を高める取組

学級での取組



2年生
「きらり」



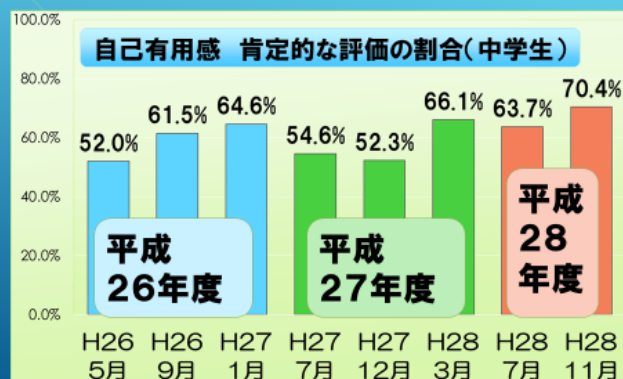
9年生
「スマイル
カード」

笑顔で、お友達と関わり、
頑張っている姿をみんなに
伝えよう！



3 自己有用感を高める取組

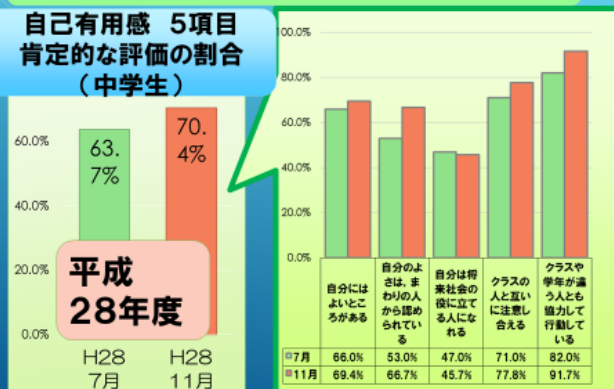
自己有用感 肯定的な評価の割合(中学生)



自己有用感についても、肯定的な評価の割合が増えています。

3 自己有用感を高める取組

自己有用感 5項目
肯定的な評価の割合
(中学生)



3 自己有用感を高める取組

存在感

児童・生徒に主体的に取り
組む場を与え、居場所を作る

承認

役割を果たしている、頑張っ
ていることが認められる機会
を持つ

貢献

自分が誰かの役に立っている
という実感を持たせる

自己有用感
UP

研究推進より

1 研究主題について

昨年度の研究主題

「思考力・判断力・表現力等を育てる指導方法の工夫」

～ESDの実践を通して～

本年度の研究主題

「宮島を誇りに思い、宮島の未来を創る児童生徒の育成」

～ESDの視点を生かした宮島の環境・国際・伝統文化からの学びを通して～

視点1

1 研究主題について

ユネスコスクール実践の場としてのESDの充実

- ・ESDカレンダー作成による、本校での学びを整理し、企画・実践・見直しを通して、次年度へつなげるPDCAサイクル
- ・ESDカレンダーにより学校としての取組の見える化を図り、教職員間だけでなく、生徒・保護者・地域と取組を共有
- ・豊富な地域の資源や人材の活用(たのもさん、宮島踊り・杓子踊り、松明づくりなど)
- ・地域の実地調査や世界遺産やラムサール条約登録の地ならではの活動

視点2

2 地域色を生かした系統的な指導

自己有用感の育成による、自分・仲間・学校・地域・世界への愛着の育成

- ・互いの良さを認め合う活動(日々の活動で、行事で、ボランティア活動で、地域行事で)
- ・学びを通して、宮島再認識(地域愛の深まり)
- ・授業や行事での関わり合い、学び合い、高め合いの場の設定(学年内で、異学年で、地域の人と)

資料5 平成28年度 第5学年 ESDカレンダー
テーマ「守ろう、宮島の環境」

【色の凡例】 1 研究主題について

育てようとする資質・能力

教科領域

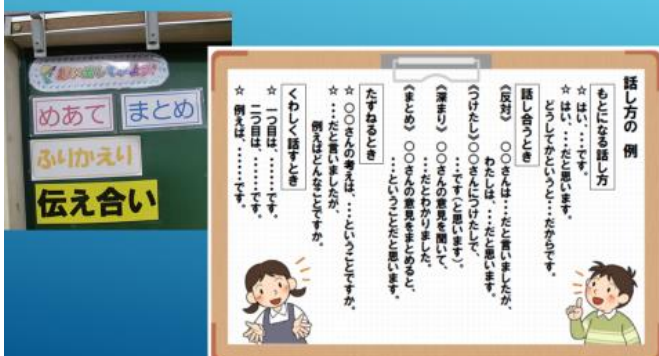
	4月	5月	6月	7月	9月
国語	国語(数字は時間数)				
社会					
算数					
理科					
総合的な学習の時間					
特別活動					
道徳					
音楽					
図工					
家庭					
体育					

環境 国際
世界遺産・地域遺産 キャリア

全学年で「ESDカレンダー」を作成し、ESD教育の「見える化」を図りました。

2 地域色を生かした系統的な指導

「伝える力」と「自己有用感」

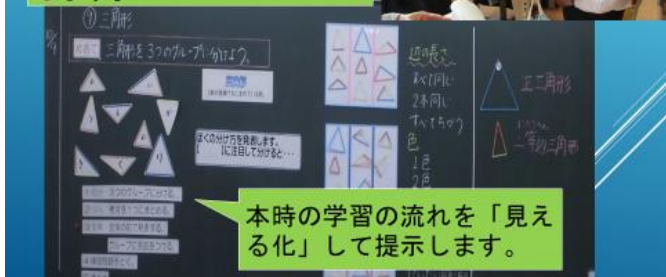


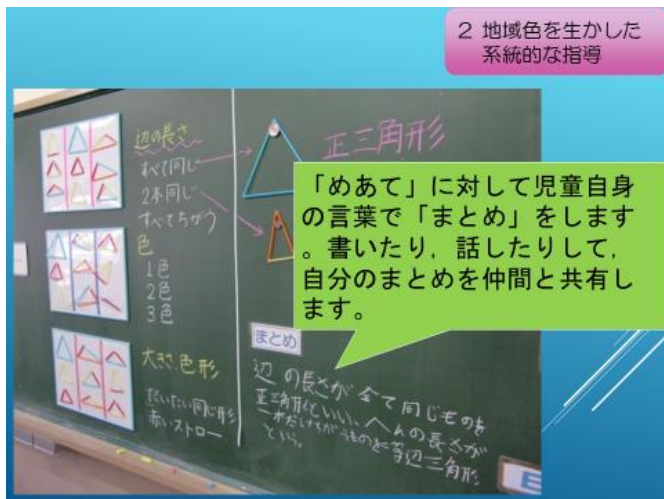
自分の考えを相手に伝え、そのことが適切に評価されることにより、自己有用感が高まり、更なる学習意欲の向上へと繋げていけるよう、支援していきます。

めあてに対応したまとめ・振り返り 3年生 算数科「三角形」

2 地域色を生かした系統的な指導

1時間の授業を「めあて」から「学習の流れ」,「まとめ」まで黒板一面で板書します。





視点3

2 地域色を生かした
系統的な指導

生活科・総合的な学習の時間や各教科等での思考力・判断力・表現力等の育成

- 各教科授業だけでなく、生活科や総合的な学習の時間においても、授業の終末に児童生徒に「めあて」と「振り返り」の記述または発言を行わせ、主体的に授業に取り組む態度を育成
- ディベート・ICT等の活用・体験的活動



2 地域色を生かした
系統的な指導

ESDの9年間の主な取組 in 宮島学園

学年	生活科・総合的な学習の時間のテーマ	学習過程・地域連携活動	環境教育	国際理解教育	キャリア教育
9	宮島の伝統文化および島民の地域への関心～宮島を愛護しよう～	宮島学園 宮島市役所	環境教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	国際理解教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	キャリア教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護
8	宮島の伝統文化および島民の地域への関心～宮島を愛護しよう～	宮島学園 宮島市役所	環境教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	国際理解教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	キャリア教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護
7	宮島の伝統文化および島民の地域への関心～宮島を愛護しよう～	宮島学園 宮島市役所	環境教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	国際理解教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	キャリア教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護
6	島民の愛護	宮島学園 宮島市役所	環境教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	国際理解教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	キャリア教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護
5	守ろう、宮島の環境	宮島学園 宮島市役所	環境教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	国際理解教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	キャリア教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護
4	島民の愛護	宮島学園 宮島市役所	環境教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	国際理解教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	キャリア教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護
3	島民の愛護	宮島学園 宮島市役所	環境教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	国際理解教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	キャリア教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護
2	島民の愛護	宮島学園 宮島市役所	環境教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	国際理解教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	キャリア教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護
1	学校や地域の課題や人の様子を認識しよう	宮島学園 宮島市役所	環境教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	国際理解教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護	キャリア教育 島民の伝統文化 島民の地域への関心 島民の愛護

11月18日には、京都・奈良・宮島3校合同による遠隔操作授業（理科）を実施しました。

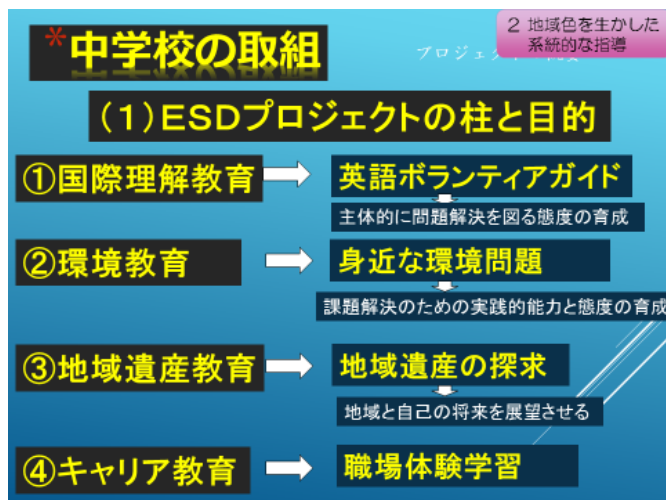
各学年あるいは複数学年合同により、地域色を生かした系統的な指導を行っています。







地域の特徴を生かした小学生時代の学びがベースとなり、
中学生での学びの発展・変革へと繋がっていきます。



(2) 中学校プロジェクトの計画

2 地域色を生かした
系統的な指導

中学校ESDテーマ:「宮島」の伝統文化および自己と地域の将来

①目的: 世界遺産「宮島」の伝統文化に学び、
後継者としての資質を養う

②実施計画

- ・第1学年テーマ:「宮島」の歴史・伝統文化に触れる
- ・第2学年テーマ:「世界遺産」の意義と価値に学ぶ
- ・第3学年テーマ:「世界遺産宮島」の伝承



(4) 宮島太鼓

主な実践事例

2 地域色を生かした
系統的な指導

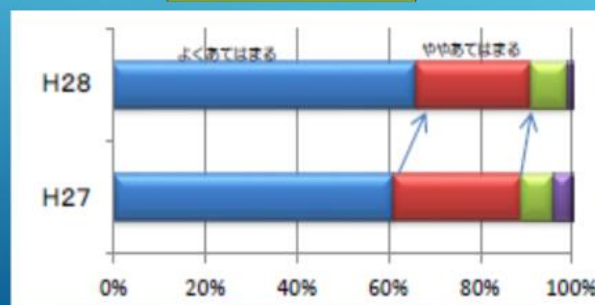
毎年文化祭で披露、年度末に受け継ぎ式



平成27年度7月、28年度9月
校内アンケートより:対象3~9年

3 検証の視点
(宮島アンケートより)

宮島が好き

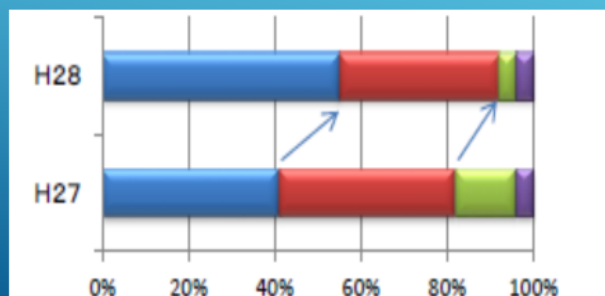


取組の検証については、児童・生徒アンケートや振り返りを実施しています。

平成27年度7月、28年度9月
校内アンケートより:対象3~9年

3 検証の視点
(宮島アンケートより)

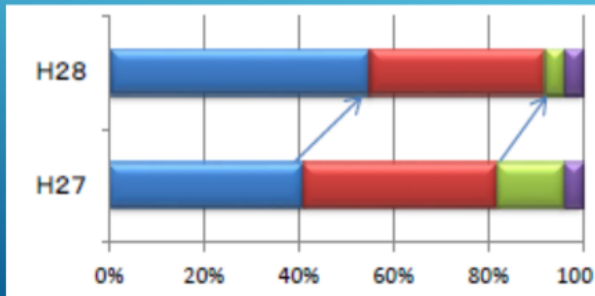
宮島の自然に興味がある



平成27年度7月、28年度9月
校内アンケートより:対象3~9年

3 検証の視点
(宮島アンケートより)

宮島のことが話せる



愛称 宮島学園 (宮島小・中学校)

これからも「この地」で学び育つ子どもたちが、自信を持って「ふるさと宮島」を語ることができるよう、教育活動を進めていきます。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- ☒ 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
☒ 時間外活動の時間を使用
☒ ユネスコクラブの活動として実施
☐ その他（ ）